

# 代表質疑

9月8日の本会議で、各交渉会派（所属議員3人以上の会派）の代表者5人が平成25年度決算について質疑を行いました。要旨は次のとおりです。

## 多くの市民の声に耳を傾け 市を挙げて果敢な取り組みを



公明党 緒方 一郎 幹事長

議員 市民・団体・事業者等に寄附を呼びかける広報について取り組みを聞く。

市長 ホームページや広報紙で実施している。今後、寄附と相続税の関係等を案内することも検討したい。

議員 都市型水害対策など下水道関連施策の実施に当たり、地域の優先順位等をどのように判断するのか。

市長 下水道経営計画2022に基づき、水害被害等の調査結果を踏まえた優先度を考慮し、バランスよく計画的に事業を進めたい。

議員 ICTを活用したコミュニティ創生に関する事業の取り組み状況を聞く。

市長 実証実験として、アンドロイド端末を用いた高齢者の見守りや買い物支援

議員 年別別定員の見直しによる保育定員の拡充の効果について所見を聞く。

市長 公立保育園の運用定員弾力化等の効果で待機児童数の増加が最小限に食い止められたと考えている。

議員 北野ハピネスセンターにおける、施設・設備の老朽化対策について聞く。

市長 今後とも施設等の適切な維持・保全を図れるよう、計画的な改修に努める。

議員 環境センターの解体及び跡地利用の方向性についての検討状況を聞く。



北野ハピネスセンター

市長 循環型社会に資する施設とすべく調査研究している。今後も跡地利用の検討を鋭意進めていきたい。

議員 消費者教育の対象者拡充等の取り組みを聞く。

生活環境部調整担当部長 特に悪質商法で狙われる高齢者や若者などへの消費者教育の拡充を図っている。

その他の質問 基金の運用／事務事業の見直し／帰宅困難者対策訓練／乳児家庭全戸訪問事業／地域ケアネットワーク／幹線道路の整備／商店街の維持・振興／駐輪場の整備についてなど

## 持続可能な自治体経営で 各分野事業の効果的な推進を



民主党 岩見 大三 幹事長

議員 平成25年度の最重要プロジェクト「都市再生」及び「コミュニティ創生」の取り組みの成果を伺う。

市長 新川防災公園・多機能複合施設（仮称）の建設工事、井の頭・玉川上水周辺地区複合施設（仮称）の設計業務に着手し、見守りネットワーク事業で新たに3つの団体と協定を締結した。

議員 25年度の市税収入は前年度を上回ったが、市内中小企業の経営環境は依然として厳しい。新たな税収を生み出すために、研究・検討した内容を伺う。

生活環境部調整担当部長 市内製造業事業所の現況基礎調査の分析、日本無線㈱移転に伴う対策検討、創業支援事業等に取り組んだ。

議員 まちづくりによる大きな影響を及ぼす農地の保全について、25年度に基本方針案をとりまとめたが、今後どのように取り組むのか。

都市整備部長 重要な農地を優先的に保全したいが、農地は地権者が営農することが最良とも考える。今後、国へ都市農業に係る基本法の制定等を要望したい。

その他の質問 南部図書館／フィルムコミッション／家庭芝生化／集中豪雨による被害の軽減についてなど



職員による防災出前講座

## 市民の声に真摯に耳を傾け 暮らしと福祉に力を注げ



日本共産党 森 徹 議員

議員 市は大幅な財源不足との認識のもと、新川防災公園・多機能複合施設（仮称）の本格的整備に着手し

た。政治判断について聞く。

市長 集約対象施設の耐震性能の課題があり、早期の対応が必要だ。集約的に建設することで、財政的な負担を減少させ、市民の利便性も向上させる方向で取り組みを進めている。

議員 井口特設グラウンドには、市民の交流と健康増進のほか、防災機能上からも重要な役割を担っている。

議員 25年度に市税収入は前年度を上回ったが、市内中小企業の経営環境は依然として厳しい。新たな税収を生み出すために、研究・検討した内容を伺う。

企画部調整担当部長 公募はしていないが、意見等は予算編成に反映している。

議員 まちづくりによる大きな影響を及ぼす農地の保全について、25年度に基本方針案をとりまとめたが、今後どのように取り組むのか。

都市整備部長 重要な農地を優先的に保全したいが、農地は地権者が営農することが最良とも考える。今後、国へ都市農業に係る基本法の制定等を要望したい。

その他の質問 南部図書館／フィルムコミッション／家庭芝生化／集中豪雨による被害の軽減についてなど

議員 臨時財政対策債の残高が105億円余である。前安田市政最終年度の平成14年度は15億円余だった。25年度決算時点で、清原市政になつてから借金を90億円増やしたことになる。そもそも臨時財政対策債は、国が交付団体に地方交付税として交付すべきものを借金させる形を取るものであり、不交付団体である三鷹市がこれを発行するということが、赤字借金を増やしているだけに過ぎない。この点をどう考えているか。

## 税を取られる側の気持ちを少しは考えよ



にしきのつばさ 半田 伸明 議員

議員 臨時財政対策債の残高が105億円余である。前安田市政最終年度の平成14年度は15億円余だった。25年度決算時点で、清原市政になつてから借金を90億円増やしたことになる。そもそも臨時財政対策債は、国が交付団体に地方交付税として交付すべきものを借金させる形を取るものであり、不交付団体である三鷹市がこれを発行するということが、赤字借金を増やしているだけに過ぎない。この点をどう考えているか。

企画部長 市民サービス水準維持のため活用を図ってきた。適切な対応と考える。

議員 財政調整基金について、過去に借金をしてまで基金に積み増しするという事態があった。その分の全額を取り崩し、借金返済に充てるべきだ。

企画部長 繰上償還で違約金が生じメ리트はない。

議員 25年度は南部図書館がオープンした。星と森と絵本の家など、清原市政になつて管理する延べ床面積は増えたのではないか。それを踏まえたものだ。廃止した保育園でのゼロ歳児保育の復活は考えていない。

議員 77歳と88歳の敬老金が廃止された。心ない冷たい予算措置ではないか。平均寿命が延びたことにより敬老金の対象を99歳以上とした政策的根拠を聞く。

議員 本市は憲法を守る立場で平和施策に取り組んできた。昨今、憲法を守る市民の取り組みに距離を置く自治体がある。考えを聞く。

市長 三鷹市における平和施策の推進に関する条例等の趣旨に基づき、今後とも基礎自治体の立場から平和施策を推進していく。

その他の質問 生活保護行政／小・中一貫教育／市政運営のあり方についてなど

議員 商店街を基盤とした事業は、地域の実情に合った進め方が求められる。

生活環境部調整担当部長 それぞれの地域特性を踏まえた活動が商店街のあり方ではないかと考えている。

議員 人事院勧告の地域手当の制度に不備がある。改善の取り組みを伺う。

市長 国の会議等で、地域の実情を踏まえた適切な見直しの要望等を行っている。

議員 既存の事業者と連携した民学産公協働の取り組みについて所見を伺う。

企画部調整担当部長 きめ細かい連携で、更に商業振興にも寄与する協働の取り組みを進めていきたい。

議員 財政力指数が1・05となり、財政運営の厳しい状況を示している。改善に向けた取り組みを伺う。

市長 公共施設の維持管理費軽減等や市税収納率向上も一定の効果があった。

議員 新川防災公園・多機能複合施設（仮称）整備事業における地元企業の参入

合計で3千万円以上も支払われる退職金制度は生き残った。教育長にも退職金制度はある。市民負担が増している今、職員の退職手当を引き下げた後だからこそ、市長、副市長、教育長の計4名につき、給与及び退職金を減額し、自ら身を切る姿勢を示すべきだ。

市長 引き下げは考えていない。

地域の活性化と諸課題の解決への取り組みを問う

## 地域の活性化と諸課題の解決への取り組みを問う



自由民主クラブ 穴戸 治重 幹事長

議員 商店街を基盤とした事業は、地域の実情に合った進め方が求められる。

生活環境部調整担当部長 それぞれの地域特性を踏まえた活動が商店街のあり方ではないかと考えている。

議員 人事院勧告の地域手当の制度に不備がある。改善の取り組みを伺う。

市長 国の会議等で、地域の実情を踏まえた適切な見直しの要望等を行っている。

議員 既存の事業者と連携した民学産公協働の取り組みについて所見を伺う。

企画部調整担当部長 きめ細かい連携で、更に商業振興にも寄与する協働の取り組みを進めていきたい。

議員 財政力指数が1・05となり、財政運営の厳しい状況を示している。改善に向けた取り組みを伺う。

市長 公共施設の維持管理費軽減等や市税収納率向上も一定の効果があった。

議員 新川防災公園・多機能複合施設（仮称）整備事業における地元企業の参入

合計で3千万円以上も支払われる退職金制度は生き残った。教育長にも退職金制度はある。市民負担が増している今、職員の退職手当を引き下げた後だからこそ、市長、副市長、教育長の計4名につき、給与及び退職金を減額し、自ら身を切る姿勢を示すべきだ。

代表質疑・一般質問の模様は市議会ホームページの本会議録画で中継でご覧いただけます。